

都市型水族館「AOAO SAPPORO」に潜入!

2023年夏に開業した商業施設「moyuk SAPPORO(モユクサッポロ)」(札幌市中央区南2条西3丁目)内にオープンした都市型水族館「AOAO SAPPORO」の山内將生館長とスタッフの方たちにお話を伺いました。

この水族館の特徴は他の多くの水族館で脇役として扱われている生き物を、あえて主役にしているところです。1つの水槽に1種類を飼育しているので、生き物それぞれの魅力を見つけて楽しく観察してほしいと思いました。「べったんこ」や「によう」など、同じ特徴をもつ生き物の見るポイントを分かりやすくネーミングして近くに配置しています。「どんな風にべったんこ?」「なぜべったんこ?」と考えながら観察すると、自分なりの発見や理由が見付かるかもしれません。水槽の近くにはその生き物と、どこか関連した本を置いたり、飼育員が清掃する様子を見せたりもしているので、AOAOだからこそその楽しみ方をしてみてくださいね。



「べったんこ」に展示されているヘコアユ



AOAO SAPPORO 館長 山内 將生 さん

お話を伺いました!



広報担当 佐々 遥平 さん 飼育担当 高橋 徹 さん

AOAOで発見! 北海道に生息する生き物たち

北海道には、これから訪れる冬でも水の中で元気に活動する生き物たちがいます。ここでは、AOAOで見られる北海道内に生息する4種類の生き物たちを紹介します。

シマウキゴリ



北区を流れる新琴似川から来たハゼの仲間、体長は8cmほどです。背びれの付け根にある黒い模様と、尾びれの付け根にあるアルファベットの「K」のような模様が特徴的です。水槽内では、岩の上や地面を這うように移動する様子が見られます。

ニホンザリガニ



ニホンザリガニの体長は約4~7cmと、かつて学校で飼育していたアメリカザリガニと比べると小さく、茶色っぽい色をしています。水が綺麗で水温の低いところに住むため、北海道や東北でしか見られません。環境省のレッドリストでは、絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

キタサンショウウオ



写真のキタサンショウウオは、釧路湿原から来ました。釧路市の天然記念物に指定されており、体長は12cmほどで、前後の足は4本指です。冬は土に潜って冬眠しますが、AOAOでは冬でも見ることができます。

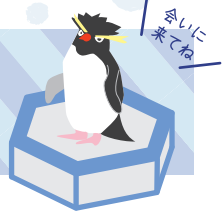
体長は7cmほどで、背びれには、10本前後のとげがあります。トゲウオの仲間の中では、一番とげが多いそうです。環境省のレッドリストでは準絶滅危惧に指定されています。普段は、川の下流や湖沼に生息していますが、冬は湧水に群れることがあるそうです。

エトモヨ



館内の海水を施設内の装置で製造し、循環させている様子や、夜とともに館内が暗くなり昼とは違う様子を見せる生物たちの姿も見られます。
【営業時間】10:00~22:00(年中無休)
※メンテナンスやイベント等により、臨時休館する場合があります。

詳しくはこちら



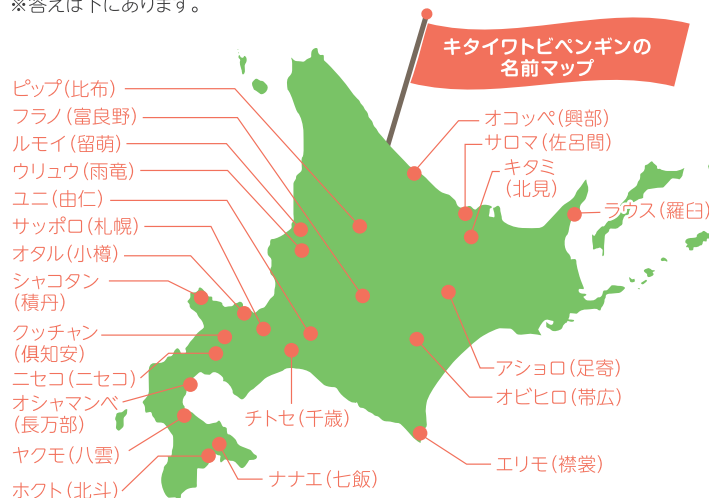
【取材・原稿執筆】神林 裕子准教授(札幌国際大学短期大学部)、西森 美紀教諭(札幌市立八軒西小学校)、西本 有希教諭(北海道教育大学附属札幌小学校)

※このニュースレターは、札幌らしい特色ある学校教育「雪」学習の活性化を願い、教師向け参考資料として発行しています。

かわいいペンギン!その名前の秘密は?

AOAO SAPPOROには、「キタイウトビペンギン」と「フェアリーペンギン」の2種のペンギンがいます。キタイウトビペンギンは、目の上の黄色い飾り羽が特徴のペンギンで、フェアリーペンギンは、世界最小のペンギンです。館内では、毎日形が変わる六角形のブロックを元気にホップするキタイウトビペンギンの姿を見ることができます。また、フェアリーペンギンには「アクア」「ソラ」「アオ」「アイス」「マリン」と名前がついています。これらの名前に共通するイメージは全て「〇〇」。みなさん分かりますか?

※答えは下にあります。



〇〇〇〇「(〇〇)星」お揃い※



推しペンギンはどこのマチ?

キタイウトビペンギンにも可愛い名前がついています。「ピップ」「オコッペ」「オタル」…。どこか聞き覚えのある名前ですね。実は水族館のスタッフの皆さんの投票で、北海道の地名が名づけられています。

館長さんの“推しペンギン”は「サッポロ」。バンドの色で見分けられるようになっています。社会の時間に、地図帳を広げながら話題が広がりますね。

【取材・原稿執筆】種谷 富茂華教諭(札幌市立藤の沢小学校)

Q 冬になると現れる巨大な雪山は何?

A 排雪された雪を置く雪堆積場です。

冬になると札幌市内の至るところに突如現れる巨大な雪山。これは市内の排雪作業によって運ばれた雪を堆積する「雪堆積場」という札幌市が管理している雪対策施設です。

冬の間、札幌市内に約80箇所の雪堆積場が開設され、多い年には2,500万㎡以上の雪を受け入れます。大規模な雪堆積場ではなんと高さが30m以上になり、8月まで雪が残っていることもあるのです。

冬の間、雪堆積場の雪山がどんどん大きくなっていく様子を定期的に観察するのも楽しいかもしれませんね。



上篠路地区雪堆積場



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習 🔍 検索

雪学習
HPは
こちら➡

